



発行 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島
 〒411-0855 静岡県三島市本町7-30 Via701
 TEL&FAX 055(983)0136
 URL <http://www.gwmishima.jp/>
 E-mail mishimagw@ybb.ne.jp

グラウンドワークとは・・・

市民・企業・行政がパートナーシップをとりながら、地域の環境改善などを行う活動です。あなたもぜひ活動にご参加ください。
(文中グラウンドワークをGWと表記することがあります。)

青少年環境交流シリーズ第一弾 行ってきました！ 日韓バイカモ環境交流

三島市内の小学生8名を含む
総勢16名が韓国・江華島へ出発

ワクワク飛び立ち、大歓迎を受け、ホストファミリーとの楽しい夜が。韓国の自然や文化に、そして異なった体験ができたことは、これからの環境保全の未来を担う子供たちに素敵な心が



湿地センターブンオリ
高台東幕湿地での観察



日程表

- 8月18日(土) 三島 羽田空港 韓国・金浦空港 江華島
《日韓バイカモ保全国際環境教育センター設立協約書締結式》
- 8月19日(日) 湿地センターブンオリ高台東幕湿地、草芝里 バイカモ生息地、エギ崎観覧、漢江河口DMZ 湿地訪問
- 8月20日(月) ソウル市内観光 金浦空港 羽田空港 三島 (2日とも宿泊はホームステイ)



渡辺豊博GW三島事務局長は、東京農工大大学院で農学博士号を取得。論文のタイトル「『グラウンドワーク』による地域再生の理論と実践に関する研究 グラウンドワーク三島を事例として」の論文の中で、「水の都三島」の復活を目指してきた源兵衛川の水辺再生を軸として、市民・NPO・行政・企業が一体となった地域力結集の表れとしてのGW三島の環境改善活動の成功要因がまとめられている。グラウンドワークをテーマとした博士号論文は日本初。

バイオトイレ 空を飛び世界へ

GW三島が白糸の滝に設置していたのと同タイプの自己完結型のバイオトイレが、9月にアメリカのマウントレニア国立公園内に設置された。マウントレニア国立公園からは今年5月に、公園管理会社の関係者が視察に訪れている。公園内に設置されたバイオトイレは、気候の違い、食生活の異なる外国人のし尿への対応等を含め、5年間にわたって共同の実証実験の試運転が始まった。(現在バイオトイレは三島梅花藻の里に設置)



マウントレニア国立公園に設置されたバイオトイレ

設置途中

ここがスゴイ 自己完結型のバイオトイレ し尿と杉チップ(間伐材利用)のバクテリア → 水と窒素ガスに分解 → 水は水洗に再利用

4年目のそばづくり隊



200kgの「三島そば」の収穫を目指し、耕し、草刈をし、種をまき、大雨に流された後も種をまき、管理も十分で、白く可憐に咲いた「そばの花」のなんと美しいこと。これが私たちの味覚を満足させてくれると思うと、また一段とおいし。今、収穫された「そばの実」はそのときを待っている。

鎮守の森探検隊(第3回)



三島に数多く残されている鎮守の森の中でもひととき大きな森の楽寿園は虫たちの天国。子供たちにも天国。夏休みのひと時をタモや素手で、虫たちを追いかけた。質問をして説明を聞き、メモを取り、写真に撮り、と熱心な観察は2時間。ハチ、アリに始まり30種類以上の生き物に触れることが出来た。

松毛川子ども環境探検



松毛川は三島市南端、狩野川横にある三日月形の止水域で、貴重な河畔林がある。かつてホテイアオイの群生が進み、群居していた水生生物の姿が減少。森の再生の第一歩として、GW三島では地元の方々の協力を得て、子供たちと、在来植生15種類300本の植林を行った。

平成 19 年度通常総会を開催

6月10日(日) Via701 で平成 19 年度通常総会が開催され、平成 18 年度事業報告と平成 19 年度事業計画及び収支予算が承認された。

今年度の計画は下記の通り。

1. まちめぐりナビプロジェクト(まちナビ)
「せせらぎの街・三島ぐるっとエコツアーナビ」
2. 「水の山・富士山ぐるっと湧水探検隊」の結成と富士山湧水インストラクターの育成
3. 「富士山の水文化を世界に発信」(ネット上に湧水マップを掲載)
4. 「子どもとシニアで作る森の昆虫博物館」
5. 「よみがえれ松毛川・子ども環境探検隊」
6. 門前屋台村・まちなか市民大学・三島みがき隊大学対抗発表会
7. 「山岳トイレ実証実験」
8. 日韓文化交流基金「韓日バイカモ保全青少年環境探検隊交流事業」
9. 「ESD推進事業」
環境出前講座(そよかぜ学習)・インターンシップ等の企画運営
10. 環境バイオトイレの海外展開
11. 富士山・地球環境貢献基金の創設

日韓バイカモ交流



三島市の小学生たちが、日韓文化交流基金の助成を受け、GW三島の企画で、8月18日~20日(2泊3日)バイカモ保護が進められている韓国・江華島を訪れた。現地では、青少年たちと交流し保護活動を学び合った。GW三島では、いったん消滅したミシマバイカモを復活させた経緯がある。それが縁でこの交流が始まった。

韓国では「韓国ナショナル・トラスト江華バイカモ保護委員会」が、平成 16(2004)年にGW三島と環境交流協定を結び(写真)両団体が協力して「環境交流センター」を建設する計画も具体化してきた。今回の訪問は、「韓日バイカモ保全青少年環境探検隊」を結成、8名の子供たちが保護活動の体験や民泊をして交流を深めた。この11月23日、韓国・江華島から訪問の予定。

2007 年度 鎮守の森探検隊「これで君も生き物博士だ！」

7月14日(土)

三島市民活動センター
「子ども夏休み昆虫教室」

講師：杉本武、加須屋真
眼を輝かせ、蝶やバッタなどの標本作りに挑戦。

7月29日(日) 源兵衛川

「川虫の世界を知ろう」

講師：遠藤浩紀、加須屋真
源兵衛川第7ゾーンが整備されるまでの経緯と水生動物の説明を受けた後、水温 18 の水の中に入り、小さな魚、ヤゴなど 30 種類の水生動物を採取、観察した。

8月19日(日) 楽寿園 (P1 参照)

講師：池田二三高、杉本武、大庭俊司、加須屋真 参加者 50 名

9月1日(土) 狩野川 「声を楽しむ秋の鳴く虫 夜の観察」

講師：杉本武、加須屋真

虫カゴ、タモ、懐中電灯を手に堤防に向かった。明るいうちはバッタ、コオロギなどの虫を追って子供たちはタモを手に元気いっぱい飛び回り、暗くなるにつれて様々な虫の音に耳を澄まして聞き入っていた。

10月21日(日) 桶ヶ谷沼(磐田市)

「日本一のトンボの沼：桶ヶ谷沼トンボ観察」

講師：細田昭博、加須屋真

桶ヶ谷沼は自然が溢れていた。トンボの観察と共に動植物の生態系を学び、ドングリごまの作り方など盛りだくさん。講師から自然環境保全地域でのルールの説明を受けた。



桶ヶ谷沼トンボ観察会

安倍晋三前総理との富士山エコ交流会

GW三島では、5月26日(土)約2時間半、渡辺豊博GW三島事務局長の案内で安倍前総理とともに山梨県富士河口湖町内に広がる富士山青木ヶ原樹海を散策するエコツアーに同行参加。新緑の森の中の昼食も同席した。その後、隣接する鳴沢コウモリ穴付近において清掃活動に参加し、安倍前総理と道路沿いの山林部に入り散乱するゴミを拾い集めた。

当日の参加者は総勢70人でGW三島からの参加者は35人。安倍前総理にGW三島の渡辺事務局長から水辺再生活動の詳細が説明された。



松毛川子ども環境探検隊が調査発表

7月22日(日)GW三島は、狩野川の一部だった三日月型の止水域・松毛川の未来を考えるセミナーを開催。その中で、昨年12月より8回にわたり小学生らが参加した「松毛川子ども環境探検隊」の発表が行われ、深刻な水質汚染の現状などが報告された。

子ども環境探検隊は専門家を交えて、水質や生物の調査、ごみマップ作りなどに取り組み、ごみを捨てない気持ちが大変なことを学んだ。水質調査では、下水や汚水の少し手前の状況であること、いずれ酸素不足を招く富栄養化が懸念されることも明らかになった。

セミナーでは、各分野の専門家による松毛川の自然についてのシンポジウム、地元の方々も交えた意見交換のワークショップなども行われた。



GW三島からは、ヘド口の除去や河畔林の植林など今後の方針を示すとともに「事業の推進には、行政や地元住民に松毛川の価値を理解してもらい、合意形成を図ることが不可欠」と述べられた。

山の虫調査隊



8月26日(日)山の虫調査隊の第2回目「虫のすみかをつくろう ワラマキ講座」(講師：井上智雄、原茂光、加須屋真)を開催。夏休みも残りわずか、まぶしい日差しの中、25名が参加した。

一行は、講師から説明を受けた後、早速森の中に入り、ワラ(畳表で代用)をカマで切る作業に取り掛かった。その後、途中見付けたいろいろな虫の説明を受けながら、ヒノキ16本にワラを巻いていった。

森の中では、近くに沢があるため、サワガニを見付けたり、デンデンムシ(シモダマイマイ)の大人と子供の見分け方の説明を受けたりした。

来年2月には、今回巻いたワラを外す「ワラマキ外し」を行い、ワラに集まってきたいろいろな虫を観察する予定。



昭和四十五年(一九七〇)村上信吾は第七代の三島青年会議所理事長に就任。その一年間の行事として、著名人の講演会を企画。参議院議員に繰り上げ当選したばかりの野末陳平、作家寺内大吉、尺八福田蘭童、酒の佐々木久子、映画淀川長治、落語林家正蔵等を招いて話題を呼んだ。

昭和四十八年、伊伝は明治時代に建てた本店を、五階建てビルに新築することになった。そしてその五階部分を多目的ホールとして活用したいという。村上の理事長時代の講演会の事どもが思い出され、そこを借りて私たち仲間何かやろうと盛り上がった。当時私たちは四十代前半。夜毎居酒屋「やっこや」へ浪漫亭に集まっては、豚肉の喉をかこっていた。何かを皆でやりたかった。

早速、五所平之助監督を顧問に、事務局長村上信吾、事務局大房信之、川村博一、山田信春、間藤守之、渡辺善治

(音楽家)、渡辺和信(司法書士)、河辺哲彦(会計士)、弓削(山岡)修一(写真部員)、中川和郎で企画委員会をスタートさせ、激論の末隔月での文化講演会や古典落語、名作映画の上映を決め会員を募りその会費で運営することにした。

まだカルチャーブーム到来以前のこと、時流の先取的発想が市民に受けたのか、故郷三島に文化の灯をとかがけた小さな街の手づくり運動は、一気に盛り上がった。

昭和四十九年、野坂昭如を皮切りに円生、大島渚、丸谷才一、小沢昭一、青島幸男、草野心平、岡本太郎、永六輔、森繁久弥、円楽、山田洋次、竹村健一、談志、大岡信、宇野重吉、曾野綾子、池田満寿夫、志ん朝、藤本義一、金田一春彦その他、昭和五十八年十月の田原総一郎を最後に足掛け十年、延べ六十数名の講師を招き、四十本余の映画を上映した。

昭和ヒトケタ族を中心にうだつの上からぬ連中が、飲み屋での酩酊の中で産み出した手づくり文化の灯はそうして消えた。思えばあれは第二の青春だったのだ。(敬称略)

「三島市民サロン」
なかがわ 中川 和郎 著
GW三島 顧問

Smile スマイル

パソコン名人
校正の達人

まえだ みつこ
前田 充子さん
むらさわ けい
村澤 圭さん

編集室に2人の仲間が加わりました。“ばりばり型？”の前田さん、“おっとり型？”の村澤さん。既に三島の各所で実力発揮のようですが、GW三島での活躍も期待します。



前田 充子さん
東京都目黒区出身。両親とも東京人。子供の頃は夏休みに友達が「田舎へ行く」と言っていて、遊び仲間が誰もいなくなり、つまらなかった。

趣味？「食べること！」。かつては作るのも好きだった。特技？いつでもどこでも「お休みなさ～い！」。10分あれば、大抵の所でOK。特芸？これって何？しいて言う、「おしゃべり」。いつでも誰でも友達になる。まれに例外もある。

モットー？人は出来る時に、出来る人が、出来ることをすればいい。

三島への想い？海のもの山のものがいつでも美味しい！いつでも山が見えて、富士山まで見える。都会育ちには本当に癒される。嫁に来た当時、毎日誰かに電話していた。家から山が見えるよ！物干しから富士山が見えるよ、と。そして、《借景の富士山》これは何にもまして素晴らしい。まさに、三島の財産です。



村澤 圭さん
富山県富山市出身。小学校3年で三島へ移る。富山弁のアクセントは懐かしいが、もう話せない。

趣味？「心地よい空間探し！かな」。そして「出会い」。これに勝るときめきはなさそう。意気軒昂は若者と先輩諸氏にお任せして、ゆるーりゆるりがいいなーと思う今日この頃。

好きな言葉？「自然体」。三島への想い？郷土の良さが分かりだしたのがここ何年かのこと。いい街だなと思う。昨年退職するまでは、オフィスの2階の窓から富士の四季を楽しみ(もちろん仕事の手を休めて)退職後は「三島の街を知る」楽しさを、味わっている。知らなかった小路から歴史まで、いろんな発見が三島を身近に手繰り寄せてくれた。ボランティアニュースに関わることで、今度は環境面からの新たな展開につながりそうだ。

静岡県立三島南高校 三島市立長伏小学校
ピオトープ復活へ

昨年、グラウンド拡張工事によって埋め立てられ、メダカが救済された三島南高ピオトープが、8月19日新たな場所に復活。コンセプトの「うっそうとした湿地」を引き継ぎ、南高ピオトープ委員会、PTA、教職員、GW三島のスタッフ他、30人以上で作業。

池の底や池周囲の整備、ヒノキを使った木橋の設置などを行い、池に水が入るとトンボが水面に産卵をする様子も見られた。今後は、池周辺への植樹や湿地植物の植栽をする予定。

また同日、長伏小学校で、PTA、教職員、GW三島のスタッフ20人で改修。2001年に完成したピオトープ「夢トープ」の池の底に粘質土をはり付け、地下タンクの水の注水を実施。

シリアの農業省視察者「きれい！」を連発

10月16日、シリアからの視察者を案内。湧水流れるどの川でも、「きれい！」を連発していた。首都ダマスカスでも、2000m級の山からの湧水による2つの川の水量が減少してきているそう、源兵衛川等の取り組みには特に関心があったようだ。GW三島の実践地と「水と緑の三島」の風景は、しっかりビデオ等で撮影し、説明にも大変熱心に耳を傾けていた。

ただ、1カ月の断食月(ラマダーン)後の訪問。昼食時間も、楽寿園で小浜池を眺められる場所での2時間遅れの10分間昼食。3時間ウォークの視察は、少々疲れたようだったが、三島らしさ、日本らしさの感じられるところでは、ついつい足を止めての意欲的な視察だった。



事務局 File

京都大学大学院からインターン研修 笠井 勝也さん



生まれただばかりのメダカを手。

8月から研修生としてお世話になっている大学院生です。趣味はスキューバダイビング(印象的だったのはオーストラリア外洋のホルメスリーフ)。座右の銘は『臥薪嘗胆』。富士市出身ですので三島は身近な街でしたが、三島のよさを何も知らなかったことを気付かされる毎日です。パイオトレ事業を中心に様々な活動に参加している中で、多くの皆様に良くしていただき、GW三島を研修先に選んで正解だったと感じています。

12月20日で研修は終了しますが、これからも三島との繋がりをもちたいと思いますので宜しくお願い致します。

GW三島活動記録 2007年6月1日-2007年10月31日

月	日	曜日	時間	事業名	内容	場所	参加人数
6	1	金	10:00~	事務局会議		Via701	7
			11:30~13:30	第1回理事会		Via701	7
6	2	土	10:00~12:00	鏡池	定例作業	鏡池ミニ公園	5
			10:00~12:00	境川・清住緑地	田植え・整備作業	境川・清住緑地	150
6	3	日	10:00~12:00	松毛川子ども環境探検隊	水質検査と川を調べる(夏編)	長伏公園北駐車場集合	31
			14:00~15:30	源兵衛川	河川清掃(新ニッポン探検隊取材)	源兵衛川・下源兵衛橋付近	20
			9:30~	三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	10
			13:00~14:00	源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	8
6	10	日	14:00~15:10	通常総会		Via701	40
			15:20~18:00	情報交換会	基調講演、活動報告	Via701	80
			18:20~20:30	交流会	(会費:男性3,000円、女性・学生1,500円)	Via701	40
6	12	火	19:00~21:00	松毛川	専門委員会	Via701	8
6	16	土	10:00~12:00	境川・清住緑地	定例作業	境川・清住緑地	12
			10:00~12:00	松毛川子ども環境探検隊	水の中の生き物を観察しよう	源兵衛川・第7ゾーン	45
			14:30~17:00	松毛川ワンデイチャレンジ	植樹・ゴミ拾い	松毛川	60
7	14	土	10:00~15:30	鎮守の森探検隊	子ども夏休み昆虫教室	三島市民活動センター	40
			14:30~17:00	松毛川子ども環境探検隊	松毛川の未来を考えるセミナー	三島グランドホテル	20
7	29	日	10:00~12:00	鎮守の森探検隊	川虫の世界を知ろう!	源兵衛川・第7ゾーン	59
7	31	火	13:30~15:20	まちナビ	第1回検討委員会	Via701	30
			19:30~	スタッフ会議		Via701	10
8	5	日	10:00~12:00	鏡池	定例作業	鏡池ミニ公園	6
			午後	境川・清住緑地	定例作業	境川・清住緑地	5
8	8	水	19:00~21:00	インストラクターミーティング		三島市民活動センター	14
8	11	土	9:00~	長伏小学校ピオトープ	事前整備作業	長伏小学校	15
			9:30~	三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	3
			13:00~14:00	源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	8
8	13	月	9:00~16:00	三島南高ピオトープ	事前整備作業	三島南高校	20
8	14	火	9:00~16:00	三島南高ピオトープ	事前整備作業	三島南高校	12
8	18	土		日韓バイカモ環境交流	(~8月20日)	韓国・江華島	16
			8:30~	長伏小学校ピオトープ	本整備作業	長伏小学校	30
			9:00~16:00	三島南高ピオトープ	本整備作業	三島南高校	20
			10:00~12:00	鎮守の森探検隊	楽寿園の生き物丸ごと観察会	楽寿園	50
8	24	金	19:30~	スタッフ会議		Via701	12
8	26	日	9:00~	三島門前屋台村	第10回街中がせせらぎウォークぶらり~内	三島商工会議所	10
			10:00~12:00	山の虫調査隊	虫のすみかをつくろう わらまき講座	広川建設資材置場	25
				中国・浙江電子集団取材		源兵衛川・三島梅花藻の里等	6
9	1	土	10:00~12:00	鏡池	定例作業	鏡池ミニ公園	4
			17:00~19:30	鎮守の森探検隊	声を楽しむ秋の鳴く虫 夜の観察	狩野川	35
9	5	水	9:00~13:00	そばつくり隊	緊急整備作業	三ツ谷そば畑	5
			13:00~	せせらぎシニア元氣工房	悠遊工房ひろかわ・事務所移動	悠遊工房ひろかわ	6
9	7	金	19:00~21:00	インストラクターミーティング		Via701	12
9	8	土	(9/8~9/16)	英国グラウンドワーク体験研修			12
			10:00~12:00	境川・清住緑地	定例作業	境川・清住緑地	8
			10:00~	三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	5
			13:00~14:00	源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	8
9	15	土	7:00~15:00	そばつくり隊	緊急整備作業	三ツ谷そば畑	5
9	28	金	10:00~	腰切不動尊例祭		腰切不動尊	8
			19:30~	スタッフ会議		Via701バックヤード	8
10	5	金	19:00~21:00	インストラクターミーティング		Via701	31
10	6	土	10:00~12:00	山の虫調査隊	カブトムシ・クワガタムシの世界・飼育講座パート2-	Via701	30
			10:00~12:00	鏡池	定例作業	鏡池ミニ公園	5
			9:00~	長伏小学校ピオトープ	整備作業(池底のたたき作業)	長伏小学校	10
			9:00~12:00	フォローアップ研修	湧水めぐり(三島市内)	三島市内	14
			10:00~12:00	三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	20
			13:00~14:00	源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	7
10	16	火	13:00~	そばつくり隊	芋掘りと畑起こし	悠遊工房ひろかわ集合	7
10	19	金	9:00~12:00	フォローアップ研修	湧水めぐり(三島市内)	三島市内	13
10	20	土	10:00~11:30	境川・清住緑地	稲刈り・午架け	境川・清住緑地	127
10	21	日	9:00~	鎮守の森探検隊	日本一のトンボの沼:桶ヶ谷沼トンボ観察	桶ヶ谷沼	40
10	24	水	11:00~	せせらぎシニア元氣工房	交流会	悠遊工房ひろかわ	12
10	26	金	19:30~	スタッフ会議		Via701	11
10	30	火	9:00~	富士山湧水インストラクタ	湧水調査(西麓グループ)	富士市・富士宮市	3

三島梅花藻の里
ボランティア募集中!
佐野美術館駐車場に隣接する『三島梅花藻の里』ではボランティアの手により三島梅花藻を育む活動を行っています。ミシマバイカモが元気になるよう手入れを行っていますので、まだ参加されたことのない方も気軽に参加してみませんか?
日時:毎週木曜日、毎月第2日曜日
いずれも10:00~11:30
持ち物:軍手、長靴
服装:長袖(ナイロン製が望ましい)
直接、三島梅花藻の里へお越しください。

まちナビ
エコツアーナビ~携帯で散策サポート
12月からいよいよ実験開始!
国交省委託の実証実験「せせらぎの街・三島ぐるっとエコツアーナビ」が12月から始動する。
GW三島では、市内にある環境改善実践地の自然環境ポイント、歴史ポイント、湧水ポイントなどを写真、解説、地図で説明し、観光推進に一役買うサービスをスタートさせる。
情報はGW三島の市民インストラクター約40人や登録した一般市民らの投稿で常時更新を図り、2台のカメラでライブ動画も提供。1台は富士山の定点映像で東京などの外国人を勧誘。もう1台は定期的に場所を変え、温水池の逆さ富士など魅力ある映像を発信する。
「みしまっぴ」にQRコードをつけて連動させることや、さまざまなツアー参加者の募集を掲載することも検討中だ。効果を検証しながら来年度以降もシステムを継続する予定。

グラウンドワーク全国研修センター
(2007年11月22日~23日)
全国研修会&フォーラム in 三島はGW三島の実践活動を事例として、パートナーシップの形成を図るための合意形成のノウハウ習得のワークショップ研修。
1.GW全国研修センター研修会
「グラウンドワークの実践事例から学ぶ-パートナーシップ形成プロセスと合意形成のノウハウ」
日時:2007年11月22日(木)
13:00-18:00
定員:30名程度
場所:三島市民活動センター
三島市本町3-29 055-983-2693
2.GW・フォーラム in 三島
「集まれ!語ろう!NPOの光と影-NPOの発展的な活動を考えるNPO大交流会議」
日時:2007年11月23日(金・祝日)
13:30-17:00
定員:150名程度
場所:三島グランドホテル
三島市大宮町3-18-33
055-975-4300
3.活動現場視察会(バス利用)
日時:2007年11月23日(金・祝日)
10:00~12:00
定員:40名程度
場所:三島市およびその周辺地域

視察に訪れたみなさん H19.6-H19.10

月	日	団体名	人数	住所
6	24	静岡大学環境フィールドワーク体験学習	49	静岡県
7	25	国土箱大学	30	東京都
7	26	クラブツーリズム株式会社	78	東京都
8	4	坂部を愛する会	23	静岡県
8	5	NPO賀茂地区生涯大学奨学園	35	静岡県
8	24	くらし・まちづくり会議"長後"	16	神奈川県
8	28	安曇野市環境基本計画策定委員会	12	長野県
8	29	都筑区連合町内会自治会	13	神奈川県
8	29	志太都町村議会議長会	31	静岡県
9	6	国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所	4	福岡県
9	8	武蔵野工業大学大塚ゼミ	19	東京都
9	23	立命館大学政策学部国際観光研究グループ	4	京都府
9	27	港南区連合町内会長連絡協議会	50	神奈川県
10	2	国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所	3	福岡県

月	日	団体名	人数	住所
10	4	樺引区町会	16	山形県
10	5	上山市議会産業厚生常任委員会	9	山形県
10	13	西城用水	18	愛知県
10	16	国際耕種株式会社	5	シリア国
10	16	NPO さあど	1	千葉県
10	18	掛川市生涯学習アドバイザー室	13	静岡県
10	19	ふじえだ市民活動センター・運営の会	20	静岡県
10	20	まちづくり真壁	10	静岡県
10	21	県立三島南高同窓会中郷支部	40	静岡県
10	21	日野市用水路カルテプロジェクト、法政大学	4	東京都
10	24	山梨大学まちづくりグループ	13	山梨県
10	25	生駒市議会環境文教委員会	6	奈良県
10	28	古河市自治会連合会	70	茨城県
10	29	荻輪町環境保全会	40	愛知県

グラウンドワーク三島 ボランティアリニューズ34号編集室 (GW三島事務局)

大島公好子 川崎徳子 岸野和子 城所恒帝 小松幸子 斎藤彩子 坂井良重 前田充子 村澤圭 山崎多紀子(50音順)